

イベント情報

8月

10日(土) 郡上おどり
個人おどりコンクール
八幡町新栄町
受付:午後7時
審査:午後8時

一般の部(高校生以上)、ジュニアの部(中学生以下)、シニアの部(60歳以上)に分かれ自慢のおどりを競い合います。
☎ 商工観光部観光課 Tel.67-1808

13日(火)~15日(木) 白鳥おどり徹夜おどり
午後8時~
翌午前4時
白鳥町上本町、駅前通り、橋本町

白鳥おどりは、アップテンポで下駄を鳴らして踊るのが特徴です。徹夜おどりでは、踊り好きと地元の人たちが、明け方まで踊り明かします。14日、15日は郡上宝暦義民太鼓の演奏も行われます。
☎ 白鳥観光協会 Tel.82-5900

13日(火)~16日(金) 郡上おどり徹夜おどり
午後8時~
翌午前4時・5時
八幡町新町、橋本町、本町

31夜開催される郡上おどりの最高潮、徹夜おどりが始まります。数万人もの踊り子が幾重も輪を作り、明け方まで踊り明かす姿は圧巻です。
☎ 商工観光部観光課 Tel.67-1808

14日(水) 第28回
郡上長良川夢花火
午後8時~午後9時
大和振興事務所周辺

願い事などの「夢」が込められた約1,000発の花火が、長良川河畔から打ち上げられます。今年のミュージックスターメインは、「Lemon/米津玄師」での音と花火の共演をご覧いただけます。(雨天順延)
☎ 郡上長良川夢花火実行委員会 Tel.88-2211

14日(水) ふるさと和良町
納涼夏まつり
午後5時~午後9時30分
和良運動公園

子ども向けイベントとして「あまごつかみ」や「子ども屋台村」を開催するほか、郡上おどりやお楽しみ抽選会が行われます。
☎ 和良振興事務所振興課 Tel.77-2211

17日(土) 高鷲ふれあい農園
トウモロコシ収穫祭
午前10時~午後4時
高鷲ふれあい農園(牧歌の里隣接)

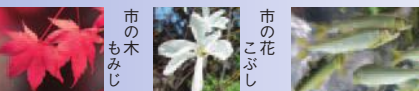
標高1,000mの高原で育った、甘くておいしいトウモロコシの収穫体験を行います。会場では焼き・ゆでトウモロコシの販売や新鮮朝市などのバザーも行われます。(荒天:8月18日開催)
☎ 高鷲振興事務所振興課 Tel.72-5111

19日(月) 郡上おどり
団体おどりコンクール
午後5時30分
審査:午後7時30分
八幡町立町

1チーム5人で市内の部、市外の部に分かれ、団体としての踊りの上手さを競います。
☎ 商工観光部観光課Tel.67-1808

24日(土) 円空のふるさと
2019美並夏まつり
正午~
花火:午後8時
日本まん真ん中センター駐車場

バザーやステージショー、無料映画上映会等の様々なイベントのほか、花火大会では、大迫力の手筒花火や滝花火等を間近でご覧いただくことができます。
☎ 美並夏まつり実行委員会(日本まん真ん中センター) Tel.79-3700



GOOD JOB [グッジョブ] 2018 VOL.2 郡上市商工会青年部発行

38

GUJO MEIHO



俺の仕事スタイル

自然と共に
働ける喜び。

養殖業 大林あまご園

TUGE TAKAMITU

柘植 隆充 からのメッセージ

夢がない子ども、興味があることを見つけるだけでも幸せなことだと思うので、肩肘張らず気楽に進んでほしいです。

俺のホンネ ピックアップインタビュー

—この仕事に就いた経緯を教えてください—

ももとは八百津町出身で、豆腐店の三男として生まれました。地元の高校を卒業して、自動車部品製造工場で2年間働いた後、スキー板製造会社に入社したのをきっかけにスノーボードを始め、その魅力にはまりました。「スキー場で働きたい!」という思いが強くなり、26歳で郡上市のめいほうスキー場で働くことになりました。職場で今の妻に出会って結婚し、妻の実家があまご園だったので手伝い始めたのがきっかけです。義父に仕事を教えてもらいながら続けてきました。

—郡上に住んでみて魅力とを感じるのとはどんな部分ですか?—

とにかく人が温かいところです。元々人付き合いはあまり得意な方ではなかったけれど、地元の消防団活動や祭りに参加して、地域の人と関わる機会が増え、自分自身が「気良にに来て変わったな」と感じています。気良には同世代の30、40代が多いのも幸せなことだと感じています。



今回のインタビュー記事は抜粋して掲載します。本誌にはもっと多くのインタビュー記事が掲載されていますので、ぜひ手にとってご覧ください。

☎ 郡上市商工会 ☎0575-66-2311

市の人口

【令和元年7月1日現在】
(住民基本台帳)

男 20,259人(-10)
女 21,208人(-58)
合計 41,467人(-68)
世帯 15,341(-12)
(出生22人 死亡50人 転入46人 転出86人)

▼今月号の記事にしている、コロンビア共和国とマダガスカル共和国の7人制女子ラグビー合同合宿の取材をさせていただきました。合宿期間中に開催された大会で、選手たちの身体能力の高さを目の当たりにし、驚きの機会は少ないので、貴重な経験でした。来年のオリンピック・パラリンピックも楽しみです。

編集雑誌